

学習クラブ参考書 P.8

国語 46 番

☆主語、述語の関係 「何が」 → 「どうする」「どんなだ」

主語

述語

例、私は 家で 国語の 勉強する

主語

述語

☆修飾、被修飾の関係 他の文節を詳しく説明している文節を修飾語、説明される文節を被修飾語という。
この関係を修飾、被修飾の関係という。

「どんな」「何の」「どのくらいの」「どのように」 → 「何が」「～する」「～に」

修飾

被修飾

例、私は いちごの アイスを 食べる

修飾語 被修飾語

☆並立の関係 二つの対等な関係の文節が並んでいる関係を並立の関係という。

例、昼食に ラーメンと チャーハンを 食べる

並立の関係

☆補助の関係 「笑って いる」「置いて ある」「試して みる」 → 「いる」「ある」「みる」などの軽い意味を添える文節を補助語といい、「笑って」「置いて」「試して」のように補助される文節を被補助語という。こうした文節の関係を補助の関係という。

※「て」や「で」の後にくる

☆接続の関係 「すると」「けれども」「頑張ったが」などの前後の文や文節を結びつけて、前後の事柄とどのような関係にあるかを表す働きをする文節を接続語という

接続語と後に続く文節の関係を接続の関係という

☆独立の関係 文中に独立語があり、独立語と他の文節との関係を独立の関係という。

☆忘れているところは文法ワークで確認しよう

数学 79 番

☆教科書 P248～251 を見よう。

☆階級値とは、階級の中央の値のことです。

例 ・階級 44～46 階級値は、真ん中の45になります。

階級の両端を足して2で割ればいいです。 $(44 + 46) \div 2 = 45$

☆中央値とは、資料を大きさの順にならべたとき、その中央にある値のことです。

データの個数が奇数個か偶数個で考え方が変わるので注意！

例 ・データが奇数個(5個)のとき

・データが偶数個(6個)のとき

5、8、19、21、26のときは、19が中央値

5、8、19、21、26、27のときは、19と21の平均20が中央値

☆最頻値、各階級の中で度数が一番多い所 ☆教科書P100、101を確認しましょう。